

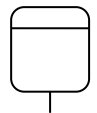
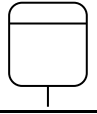
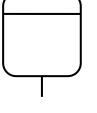
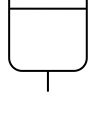
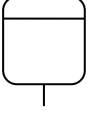
EC療法について

1. 注射薬について

●EC療法では、2種類の抗がん剤を使用します。

成分名	商品名
E：エピルビシン	エピルビシンNK注
C：シクロフォスファミド	エンドキサン注

●投与スケジュール

1		60分前に内服	アプレピタントカプセル 125mg	吐き気止め
2			生理食塩液	ルート確保
3			アロキシバッグ デキサート注	吐き気止め
4			生理食塩液 <u>エピルビシン注(赤色の薬)</u>	
5			生理食塩液 <u>エンドキサン</u> (透明の薬)	
6			生理食塩液	ルート洗浄

*この治療を、3週間に1回行います。

●副作用

投与当日から 投与数日目ごろ

- 尿の色が赤色になります。
→エピルピシン注射液の影響ですので心配いりません。
- 点滴をうけた部位の腫れ、痛み、赤み
→すぐに病院に連絡してください。
- 吐き気・嘔吐(おうと)・食欲不振

投与1週間目ごろ

- 骨髓抑制：白血球・赤血球・好中球・血小板が一時的に減少します。
→**うがい・手洗いを行い、感染症を予防しましょう。**
- 口内炎
対策：口腔内を清潔に保ちましょう。
- 便秘：必要に応じ下剤を使用してください。
- 下痢：脱水症状に気をつけてください。
→**水分補給**をしましょう。
便の回数が増えたり、腹痛、水様便の場合、すぐに連絡下さい
- だるさ・倦怠感

投与2週間目ごろ

- 白血球・好中球が最も減少する時期です。
体温計測し、発熱時には、医師の指示に従って下さい。
- 味覚変化

投与3週間目ごろ

- 脱毛
→投与中止後3～6ヶ月ほどで再び髪がはえてきます。
対策：帽子、バンダナ、スカーフなどを上手に利用しましょう。

その他

- 出血性膀胱炎
→排尿時に痛みをとまったり、尿色に変化があればすぐに連絡下さい。
対策：水分を多くとり、排尿を我慢しないようにしましょう。
- 爪の異常、色素沈着、手足皮膚反応などの皮膚症状
対策：爪は短く、**保湿ケア**をしましょう。
- せき、息切れ、呼吸がしにくい
- 関節痛
- めまい

＊これらの症状はすべての患者さんに起こるわけではありません。
何か気になることがありましたら、お気軽にお尋ねください。